

#### 4. 考察とまとめ

医薬品のあり方についての議論において、マクロ薬剤費や薬剤費比率に関する国際比較研究結果がしばしば用いられるが、疾病構造や医薬品そのものの使われ方、価格の違いなどがあるため、単純に総額としての医薬品支出額を比較した議論には問題が多い。

医薬品の価格については、日本の薬価が海外と比較して高いのかあるいは低いのかといった、いわゆる内外価格差に関する議論が長い間継続されてきているが、価格についても、公定価格と市場での自由価格、あるいは医薬品費が包括評価されている国とさまざまあり、価格そのものの比較を行うことにはさまざまな課題が存在している。そこで、医薬品全体としての支出額の比較を行う際にも、価格の問題と使用量の問題とはわけて、それぞれについてデータの収集と分析を行う必要がある。

しかしながら、使用量については、これまで海外でも研究が極めて少なく、経済開発協力機構（OECD）における IMS データを用いた調査結果<sup>1)</sup> や EuroMedStat group での欧州 14 カ国におけるスタチン系薬剤の使用状況の試行研究が実施され一部結果公表<sup>2)</sup> されている程度にとどまっている。

今回、IMS から協力を受け、わが国では初めて医薬品支出を構成する要因のうちの使用量に着目し国際比較研究を行うことができた。

使用量の比較を行う際にも、外来と入院とを分ける必要があるが、欧米諸国では入院医療に関する医療機関への償還は包括評価あるいは予算制となっていることが多く、データの入手は困難である。今回、使用した IMS データについても外来医療で用いられる医薬品について、医師の処方せんに関するアンケート調査データが基本になっている。

そこで、本研究では外来で診療が行われ、各国で医薬品の使用に違いがあることが予想される傷病を選択した。抗生物質・抗菌剤については、特に日本と欧米での使用の違いがあることが予想されたが、外来で治療されることが一般的と思われる疾患として中耳炎を選択した。

研究の結果、日本で特徴的な事項として明らかとなったことは、高血圧での Ca 拮抗剤の処方割合、消化性潰瘍でのその他の抗潰瘍薬（主に防御因子系抗潰瘍薬）の処方割合、セファロsporin系抗生物質の処方割合がそれぞれ高く、抗生物質・抗菌剤を除くといずれも日本は諸外国に比べ処方日数が著しく短いことが明らかとなった。

処方日数が短いことは、歴史的に処方期間の制限があったことが要因であることは明らかである。今回分析で用いたデータは 2003 年度のものであるが、2003 年度には処方期間の制限が撤廃されたとはいえ、この時点では、習慣的に 2 週間程度の処方となっていた。ただし、処方日数の比較が可能な剤形は経口剤に限られ、インスリンや点耳薬などについては処方日数の分析にはより注意が必要である。

今回 IMS データを用いて医薬品使用の国際比較を試みたが、その結果、いくつかの留意点も明らかとなった。まず、国際比較の中でジェネリックの使用割合に関心をもったが、医薬分業が原則で、しかも調剤薬局での代替調剤（広義：ブランド品をジェネリックに置き換えること）が広く認められている欧米では、処方せんと実際に調剤されている薬剤とを商品名ベースで比較することも、実際上困難がある。このことは、日本と諸外国との間でのジェネリックの使用割合を比較することが難しい。

また、各国で発売されている医薬品の種類が異なっていることも留意する必要がある。成分レベルでの発売状況の違いに加え、異なる薬効の成分の配合剤が国によっては存在するため、こうした配合剤の分類には一部問題を残している。この点については、併用療法に関する分析と合わせ、今後の分析課題としたい。

IMS データには処方単位数が含まれている。このデータを用いることで、1 回あたりの処方量（力価）の違いも比較することが可能である。一般に言われるように、日本の 1 回あたりの使用量は少ないのか、ということも検証できる。ただし、処方単位数は、包装単位で示されているため、実際に処方量の比較を行うに当たっては、包装単位レベルまで遡った分析が必要であった。そこで、今回の解析では、処方量の違いについては検討を行わなかった。

医薬品使用量の国際比較を行うに当たっては、統一された形で各国において収集されたデータソースを用いることが必要である。

#### 文 献

- 1) Michael Dickson and Stéphane Jacobzone: Pharmaceutical Use and Expenditure for Cardiovascular Disease and Stroke: a Study of 12 OECD Countries. OECD Working Paper No.1. <http://www.oecd.org/dataoecd/61/8/2502315.pdf>
- 2) EuroMedStat group : Variations and increase in use of statins across Europe: data from administrative databases. BMJ 328: 385-386, 2004

謝辞：本調査のためにご協力をいただきましたアイ・エム・エス・ジャパン株式会社に御礼申し上げます。

厚生労働科学研究費補助金政策科学推進研究事業

「医薬品の使用ならびに価格に関する国際比較研究」

総括・分担研究「社会医療診療行為別調査による疾患別薬剤使用実態に関する分析」

主任研究者 財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構 坂巻 弘之  
分担研究者 財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構 山崎 学  
分担研究者 慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室 池田 俊也  
研究協力者 財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構 今野 広紀  
研究協力者 国立保健医療科学院 政策科学部 長谷川 敏彦  
研究協力者 国立保健医療科学院 政策科学部 池田 奈由  
研究委託 みずほ情報総研株式会社

要約

社会医療診療行為別調査・薬剤使用状況編個表データを用い、傷病後との医薬品使用状況を分析した。対象とした傷病は、高血圧、高脂血症、糖尿病、消化性潰瘍、喘息の4疾患とし、平成14年、15年の薬効別使用状況、薬価合計、総点数について検討を行った。また、喘息においては、平成7年からの入院外での吸入ステロイドの使用割合を分析した。

外来患者の薬効別の使用割合を見ると、高血圧では、Ca拮抗剤の使用割合が最も多く、高脂血症ではHMG-CoA還元酵素阻害剤、糖尿病ではSU剤、消化性潰瘍ではその他の抗潰瘍剤が多く、開設主体別に見ると、個人の医療機関でフィブрат系高脂血症治療剤の使用割合、その他の抗潰瘍剤の使用割合が高いなどの違いが見られた。また、入院外と調剤とを比較すると一般的に調剤の薬価合計は入院外に比べ高い傾向であった。入院外における吸入ステロイドの使用割合は、ガイドラインの普及にしたがって増加傾向がみられ、特に40歳から64歳の集団では、この間に10%程度から30%以上にまで増加していた。

研究目的

国民医療費に占める医薬品の割合は、約22%（以下総点数に占める薬剤料の割合：平成15年度、以下同じ）であり、とりわけ入院外では34.5%と、ほぼ外来医療の三分の一は医薬品が占めている。個々の傷病ごとに薬効別に医薬品の使用状況を分析することで、医薬品の使用の効率性に関する課題を明らかにすることができ、医薬品への支出額の分析の前提となる。本研究においては、厚生労働省が毎年実施している社会医療診療行為別調査・薬剤使用状況編個表データを用い、傷病後との医薬品使用状況を分析した。

## 方法

### (1) 社会医療診療行為別調査・薬剤使用状況編個表データ

社会医療診療行為別調査・薬剤使用状況編個表データの平成 7 年度から平成 15 年度データを用いた。

データは、厚生労働省統計情報部よりテキストデータの形式で提供を受けたものを、薬剤ごとの解析を SPSS にて行うため、1 患者ごとの可変長データセットに変換を行った。なお、変換作業はみずほ情報総研株式会社にて実施した。

### (2) 分析対象傷病と薬効コード

分析対象とした傷病は、高血圧、高脂血症、糖尿病、消化性潰瘍、喘息である。これらの対象傷病の選択にあたっては、生活習慣病で医療費に占める傷病別医療費の割合が高いものとして高血圧、高脂血症、糖尿病を選択した。特に高脂血症は、国際比較において海外での分析がなされている疾患である。また、消化性潰瘍は、一般に日本では「防御因子系抗潰瘍薬」の使用頻度が高い、喘息では「吸入ステロイド」の普及が途上にあるなどの、わが国独自の特徴が推察されることから分析対象傷病に加えた。

社会医療診療行為別調査における薬効コードは日本標準商品分類をもとにコードを付与しているため、一般に臨床で用いられている分類や国際比較には適さないとの問題がある。そこで、日本における代表的な医薬品データベースである「日本医薬品集」（じほう社、2003 年 10 月版）を用い、以下の手順で医薬品リストを作成し、薬効分類コードを付与した。

日本医薬品集 CD-RoM 版における「文中語検索」機能を用い、「効能・効果」に上記の分析対象傷病を有する医薬品すべてを抽出した。一般名ごとに表に示す分類で薬効コードを付与した。

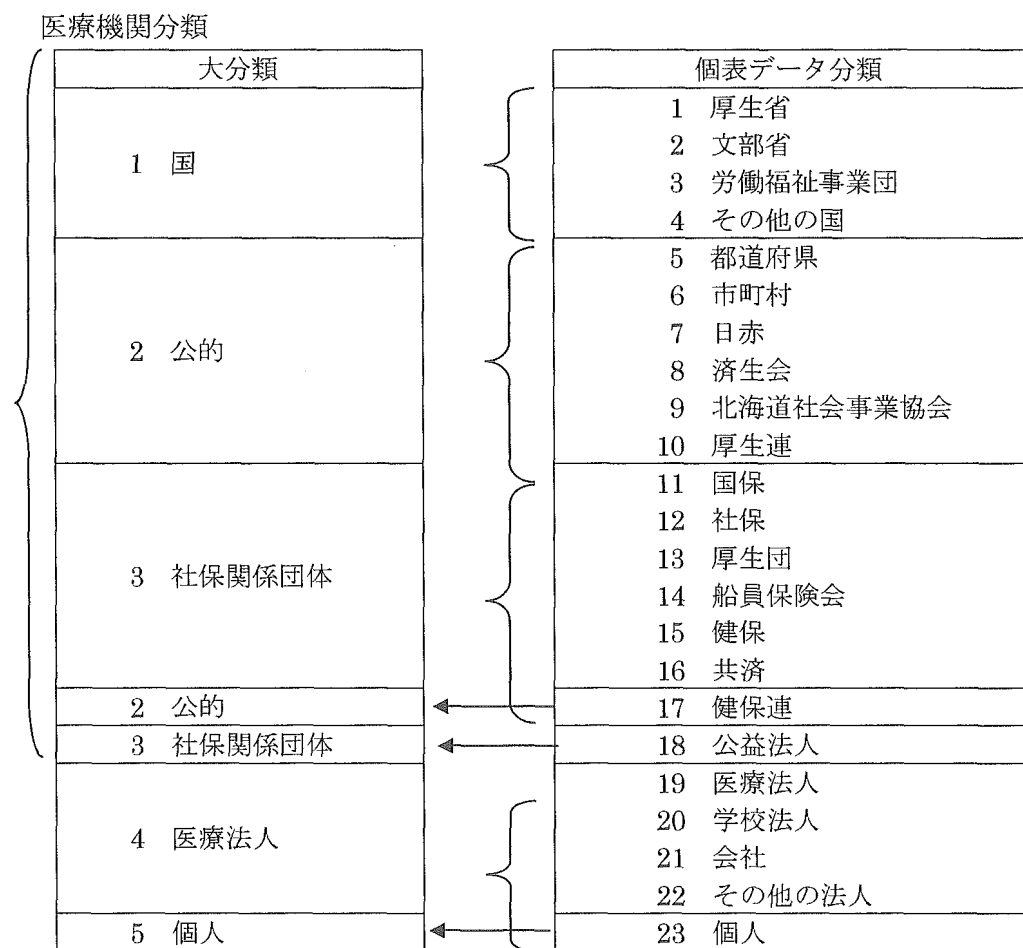
### (3) 分析

高血圧、高脂血症、糖尿病、消化性潰瘍については、以下の理由により時系列の分析は行わず、平成 14 年度、平成 15 年度について焦点をあて、薬効別の使用状況、薬効別での診療報酬点数、医薬品の点数、医薬品の点数について分析した。医薬品点数は、1 回の処方薬価に基づく点数（薬剤点数）×投与回数（日数）により計算した。すなわち、使用に用いたデータは、平成 13 年以前データについては、包括部分、院外調剤については医薬品名が不明のものが約 35%含まれているため、時系列での分析には適さないことが判明したため、上記の通り直近 2 年度のデータ分析を行った。本分析では、入院、入院外、調剤のそれぞれについて、10 歳階級での年齢階級ごとの分析、医療機関の開設主体別での分析を行った。

患者数のシェアは、抽出されたデータに医療機関種別毎の 1/「抽出率」＝倍率を掛け、「重み付け患者数」を算出し、各傷病の薬効別の医薬品使用シェアを求めた。それぞれの薬効の医薬品を用いた場合の薬価合計と総点数のそれぞれの単純平均を求め、医療費に与える影響も分析した。薬価については、薬価×薬剤量×投与回数から単位を「円」で表記した。総点数は「点」表記である。

喘息については、吸入ステロイドは薬価が高いため、包括に含まれず個々のデータを特定することが可能であるため、喘息患者のうちの使用割合を推定することを目的に、平成 7 年から～平成 14 年の各年のデータにおいて分析を行った。性・年齢階級（0-14 歳、15-39 歳、40-64 歳、

65歳以上)別に、主傷病(喘息と喘息以外)と吸入ステロイド使用の有無によって、外来の診療日数×倍率の合計を集計した。そして、主傷病が喘息である外来患者のうち、吸入ステロイドを使用している者の割合を算出した。分析に含まれた吸入ステロイド製品は、プロピオン酸ベクロメタゾン吸入剤13品、プロピオン酸フルチカゾン吸入剤8品、ブデソニド吸入剤2品である。



医薬品分類【高血圧】

分類	項目名	分類	項目名
ACE阻害剤	アラセプリル カプトプリル トランドラプリル ペリンドプリルエルブミン マレイン酸エナラプリル リシノプリル 塩酸イミダプリル 塩酸キナプリル 塩酸テモカプリル 塩酸デラプリル 塩酸ベナゼプリル	漢方製剤	黄連解毒湯 九味檳榔湯 三黄瀉心湯 四物湯 七物降下湯 柴胡加竜骨牡蛎湯 真武湯 大柴胡湯 大柴胡湯去大黄 大承気湯 通導散 釣藤散 桃核承気湯 八味地黄丸 防風通聖散 抑肝散加陳皮半夏
Ca拮抗剤	アゼルニジピン アラニジピン シルニジピン ニソルジピン ニトレンジピン ニフェジピン ニルバジピン フェロジピン ベシル酸アムロジピン 塩酸エホニジピン 塩酸ジルチアゼム 塩酸ニカルジピン 塩酸バルニジピン 塩酸ベニジピン 塩酸マニジピン	その他	アルプロスタジルアルファデクス アロプリノール ウラビジル エチゾラム エポプロステノールナトリウム カフェイン カリジノゲナーゼ クエン酸タンドスピロン クロルジアゼポキシド ジギトキシン ジゴキシン デスラノド ニコチン酸トコフェロール ニトログリセリン パッシフローラエキス ブドララジン フマル酸ビンプロロール メチルドパ エシドライ カドララジン トリパミド ニトロプルシドナトリウム ブラゼパム フルジアゼパム フルトプラゼパム プロスシラリジン プロマゼパム ベハイドRA錠 ベラプロストナトリウム ベンズブロマロン メキサゾラム メシル酸ジヒドロエルゴトキシン メチクラン メチルジゴキシン ラナトシドC レシナミン レセルピン 安息香酸ナトリウムカフェイン 塩酸グアンファシン 塩酸クロニジン 塩酸トドララジン 塩酸ヒドララジン 酢酸グアナベンズ
α遮断薬	メシル酸ドキシザジン 塩酸テラジン 塩酸ブナジン 塩酸ブラジン		
β遮断剤	アテノロール カルベジロール ナドロール ニブラジロール 塩酸ブニトロロール 塩酸プロプラノロール 塩酸ベタキソロール 塩酸ベバントロール 塩酸ラベタロール 酒石酸メプロロール 硫酸ペンブトロール ピンドロール マロン酸ボピンドロール 塩酸アセプトロール 塩酸アモスラロール 塩酸アロチノロール 塩酸インデノロール 塩酸カルテオロール 塩酸セリアロロール 塩酸チリノロール		
アンギオテン シン-II受容体 拮抗剤	カンデサルタンシレキセチル テルミサルタン バルサルタン ロサルタンカリウム		
利尿剤	インダパミド クロルタリドン スピロラクトン トリアムテレン トリクロルメチアジド ヒドロクロチアジド フロセミド ベンチルヒドロクロチアジド メフルシド		

医薬品分類【消化性潰瘍】

分類	項目名	分類	項目名
H2-受容体拮抗剤	シメチジン	その他	アズレン
	ニザチジン		アミノ安息香酸エチル
	ファモチジン		アモキシシリン
	ラファチジン		アルプラゾラム
	塩酸ラニチジン		エチゾラム
塩酸ロキサチジンアセテート	オキセサゼイン		
プロトンポンプインヒビター	オメプラゾール		クエン酸タンドスピロン
	ラベプラゾールナトリウム		クラリスロマイシン
	ランソプラゾール		クロルジアゼポキシド
漢方製剤	安中散		ケイ酸アルミン酸マグネシウムビスマス
	四逆散		ケイ酸マグネシウム
	柴胡桂枝湯		スルピリド
	半夏瀉心湯		トコン
	六君子湯		パッシフローラエキス
			ヒドロタルサイト
その他の潰瘍治療剤	L-グルタミン		フルタゾラム
	アスパロン		フルトブラゼパム
	アズレンスルホン酸ナトリウム・L-グルタミン		ペンタゾシン
	アセグルタミドアルミニウム		ボラブレジング
	アルギン酸ナトリウム		メキサゾラム
	アルジオキサ		メタケイ酸アルミン酸マグネシウム
	アルジオキサ・メタケイ酸アルミン酸マグネシウム		メチル硫酸N-メチルスコポラミン
	エカベトナトリウム		メトクロプラミド
	エグアレンナトリウム		ヨウ化オキサピウム
	エンプロスチル		ヨウ化チエモニウム
	オルノプロスチル	ロートエキス	
	ガストロフィリン-A	ロフラゼパ酸エチル	
	カンゾウ抽出物・メタケイ酸アルミン酸マグネシウム	塩化トロスピウム	
	キャベジンU散	塩酸ジサイクロミン	
	グリフィリンG	塩酸ピペリドレート	
	ゲファルナート	乾燥水酸化アルミニウムゲル	
	コランチル	酸化マグネシウム	
	スクラルファート	臭化エチルピペタナート	
	ソファルコン	臭化チキジウム	
	テプレノン	臭化チメピジウム	
	トロキシピド	臭化バレタメート	
	ノバフィリンG	臭化ブチルスコポラミン	
	ファイナリンG	臭化ブトロピウム	
	プラウノール	臭化プリフィニウム	
	プログルミド	臭化プロパンテリン	
	マリジンM	臭化プロパンテリン・銅クロロフィリンナトリウム・ケイ酸マグネシウム	
	マレイン酸イルソグラジン	臭化メチルオクタロピン	
	ミノプロストール	水酸化マグネシウム	
	メチルメチオニルスルホニウムクロリド	炭酸マグネシウム	
	ユーナイン	炭酸水素ナトリウム	
	リンゴ酸クレボプリド	沈降炭酸カルシウム	
	レバミピド	硫酸アトロピン	
	塩酸セトラキサート		
	塩酸ピレンゼピン		
	塩酸ベネキサートパータデクス		
	合成ケイ酸アルミニウム		
水酸化アルミニウムゲル・水酸化マグネシウム			
複合エピサネートG顆粒			
幼牛血液抽出物			

医薬品分類【高脂血症、糖尿病】

高脂血症		糖尿病	
分類	項目名	分類	項目名
EPA剤	イコサペント酸エチル	SU剤	アセトヘキサミド
HMG-CoA還元酵素阻害剤	アトルバスタチンカルシウム水和物 シンバスタチン ピタバスタチンカルシウム プラバスタチンナトリウム フルバスタチンナトリウム		グリクラジド グリクロピラミド グリブゾール グリベンクラミド グリメピリド クロルプロバミド トラザミド トルブタミド
フィbrate系高脂質血症用剤	クリノフィbrate クロフィbrate クロフィbrateアルミニウム フェノフィbrate ベザフィbrate	ビグアナイド系血糖降下剤	塩酸ブホルミン 塩酸メホルミン
陰イオン交換樹脂	コレステラミン	αグルコシダーゼ阻害薬	アカルボース ボグリボース
その他の高脂質血症用剤	エラスターゼES コレステミド ソイステロール デキストラン硫酸ナトリウムイオウ ニコモール ニセリトール パンテチン プロブコール ポリエノスファチジルコリン	インスリン	イソフェンインスリン水性懸濁 イソフェンインスリン水性懸濁 インスリン インスリン アスパルト インスリン アスパルト(遺伝子組換え) インスリン グラルギン(遺伝子組換え) インスリン リスプロ(遺伝子組換え) インスリン亜鉛水性懸濁 インスリン亜鉛水性懸濁 プロタミンインスリン亜鉛水性懸濁 プロタミンインスリン亜鉛水性懸濁 結晶性インスリン亜鉛水性懸濁 結晶性インスリン亜鉛水性懸濁 生合成ヒト二相性イソフェンインスリン 中性インスリン 無晶性インスリン亜鉛水性懸濁 無晶性インスリン亜鉛水性懸濁
その他	ガンマ-オリザノール トコン ニコチン酸トコフェロール 酪酸リボフラビン	その他	エパルレスタット トログリタゾン ナテグリニド 塩酸ピオグリタゾン

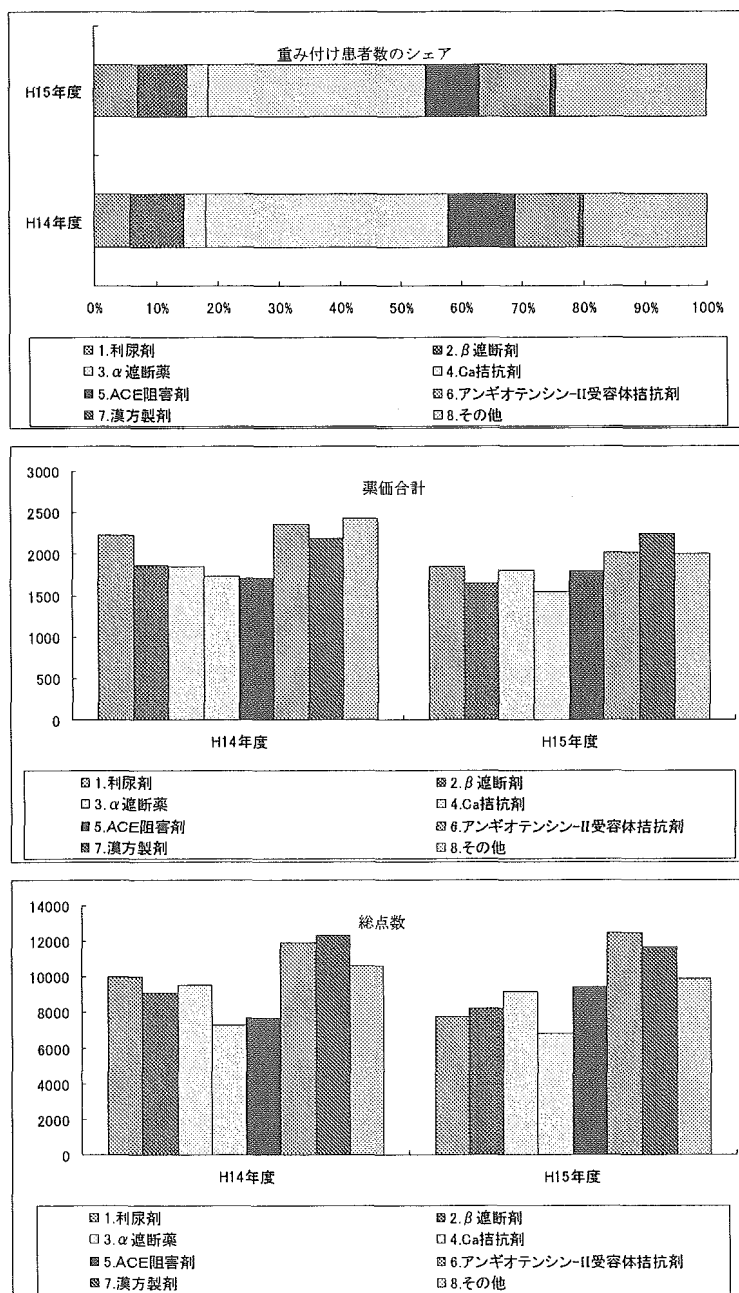


## 結果

### (1) 高血圧における降圧剤使用状況

グラフには、入院外と調剤レセプトを合計した外来患者における降圧剤の使用状況、薬価合計と総点数の平均については入院外のみについて平成14年度平成15年度のそれぞれについて示している。また、表には、入院、入院外、調剤のそれぞれについて年齢階級別の解析結果を示している。

降圧剤のうち、最も多く使用されているものはCa拮抗剤であり、平成14年度と平成15年度との比較でもそのシェアはやや増加していた。また、入院外の薬価合計、総点数についてみるとアンギオテンシンⅡ受容体拮抗剤（ARB）使用のもので薬価、点数とも高い傾向であった。



年齢構成別に見ると、平成14年、平成15年とも、年齢が高くなるに従い、Ca拮抗剤の使用割合が高くなる傾向であった。ただし、70歳以上ではその割合はやや下がる傾向であった。薬価合計の平均では、年齢階層間に特徴は見られなかったが、総数の入院外と調剤とをみると、平成14年度の入院外が10,098円、調剤が12,926円と調剤の方がやや高い傾向であり、平成15年度では、それぞれ8,979円、13,659円とその差は拡大していた。

総点数では、平成14年度で、それぞれ2,062点、1,748点と、入院外の方が高い傾向であったが、平成15年度では、1,707点、1,809点と逆転していた。

### H14年度 高血圧・重み付け患者数

年齢区分	分類	H14入院	H14入院外	H14調剤	入院外+調剤	入院外+調剤のシェア
20～29歳	1.利尿剤		1,020.0	3,150.0	4,170.0	3.9%
	2.β遮断剤		1,676.0	3,500.0	5,176.0	4.8%
	3.α遮断薬		20.0	700.0	720.0	0.7%
	4.Ca拮抗剤	160.0	5,056.0	5,250.0	10,306.0	9.6%
	5.ACE阻害剤		2,468.0	3,500.0	5,968.0	5.6%
	6.アンギオテンシン-I受容体拮抗剤		5,934.0	3,500.0	9,434.0	8.8%
	7.漢方製剤			8,050.0	8,050.0	7.5%
	8.その他		240.0		63,051.0	59.0%
	小計	160.0	16,414.0	90,461.0	106,875.0	100.0%
30～39歳	1.利尿剤		2,184.0	8,750.0	10,934.0	2.8%
	2.β遮断剤	20.0	7,760.0	16,450.0	24,210.0	6.2%
	3.α遮断薬		3,080.0	6,300.0	9,380.0	2.4%
	4.Ca拮抗剤	193.0	40,683.0	39,361.0	80,044.0	20.6%
	5.ACE阻害剤	35.4	11,568.0	12,600.0	24,168.0	6.2%
	6.アンギオテンシン-I受容体拮抗剤	157.4	18,114.0	15,400.0	33,514.0	8.6%
	7.漢方製剤	177.0	2,228.0	7,700.0	9,928.0	2.6%
	8.その他	55.4	7,560.0	188,377.0	195,937.0	50.5%
	小計	638.2	93,177.0	294,938.0	388,115.0	100.0%
40～49歳	1.利尿剤	146.8	9,585.0	25,550.0	35,135.0	2.5%
	2.β遮断剤	275.6	78,888.0	98,455.0	177,343.0	12.4%
	3.α遮断薬	226.4	27,912.0	40,222.0	68,134.0	4.8%
	4.Ca拮抗剤	2,100.2	290,276.0	187,894.0	478,170.0	33.6%
	5.ACE阻害剤	517.4	84,977.0	93,555.0	178,532.0	12.5%
	6.アンギオテンシン-I受容体拮抗剤	549.2	99,754.0	77,322.0	177,076.0	12.4%
	7.漢方製剤		1,436.0	6,300.0	7,736.0	0.5%
	8.その他	715.8	79,812.0	222,705.0	302,517.0	21.2%
	小計	4,531.4	672,640.0	752,003.0	1,424,643.0	100.0%
50～59歳	1.利尿剤	2,084.8	88,365.0	73,850.0	162,215.0	3.5%
	2.β遮断剤	445.2	284,747.0	225,827.0	510,574.0	11.2%
	3.α遮断薬	1,088.0	98,533.0	68,061.0	166,594.0	3.6%
	4.Ca拮抗剤	6,052.0	1,090,476.0	777,231.0	1,867,707.0	40.8%
	5.ACE阻害剤	1,877.2	380,751.0	231,805.0	612,556.0	13.4%
	6.アンギオテンシン-I受容体拮抗剤	2,454.0	279,156.0	278,082.0	557,238.0	12.2%
	7.漢方製剤		23,060.0	21,350.0	44,410.0	1.0%
	8.その他	1,661.4	246,448.0	405,027.0	651,475.0	14.2%
	小計	15,662.6	2,491,536.0	2,081,233.0	4,572,769.0	100.0%
60～69歳	1.利尿剤	2,851.6	193,345.8	212,633.0	405,978.8	5.2%
	2.β遮断剤	2,922.4	393,634.4	316,985.0	710,619.4	9.1%
	3.α遮断薬	1,507.6	197,000.2	114,411.0	311,411.2	4.0%
	4.Ca拮抗剤	10,890.0	1,969,111.0	1,347,686.0	3,316,797.0	42.5%
	5.ACE阻害剤	2,629.4	493,622.2	351,173.0	844,795.2	10.8%
	6.アンギオテンシン-I受容体拮抗剤	4,562.8	453,540.6	331,155.0	784,695.6	10.0%
	7.漢方製剤		16,918.6	24,400.0	41,318.6	0.5%
	8.その他	5,867.4	551,419.6	841,048.0	1,392,467.6	17.8%
	小計	31,231.2	4,268,592.4	3,539,491.0	7,808,083.4	100.0%
70歳以上	1.利尿剤	24,114.2	360,223.0	574,980.0	935,203.0	7.6%
	2.β遮断剤	3,757.6	419,840.6	446,799.0	866,639.6	7.0%
	3.α遮断薬	2,538.6	228,135.0	194,733.0	422,868.0	3.4%
	4.Ca拮抗剤	28,544.2	2,568,116.8	2,231,109.0	4,799,225.8	39.0%
	5.ACE阻害剤	8,393.2	726,742.2	546,087.0	1,272,829.2	10.3%
	6.アンギオテンシン-I受容体拮抗剤	7,371.4	649,288.2	547,149.0	1,196,437.2	9.7%
	7.漢方製剤	256.4	31,930.8	65,607.0	97,537.8	0.8%
	8.その他	22,129.2	1,077,051.6	1,647,375.0	2,724,426.6	22.1%
	小計	97,104.8	6,061,328.2	6,253,839.0	12,315,167.2	100.0%
合計	1.利尿剤	29,197.4	654,722.8	902,763.0	1,557,485.8	5.8%
	2.β遮断剤	7,461.6	1,186,546.0	1,110,466.0	2,297,012.0	8.6%
	3.α遮断薬	5,360.6	554,680.2	424,427.0	979,107.2	3.7%
	4.Ca拮抗剤	47,939.4	5,963,718.8	4,590,081.0	10,553,799.8	39.6%
	5.ACE阻害剤	13,452.6	1,700,128.4	1,240,120.0	2,940,248.4	11.0%
	6.アンギオテンシン-I受容体拮抗剤	15,094.8	1,505,786.8	1,253,308.0	2,759,094.8	10.4%
	7.漢方製剤	433.4	75,573.4	134,457.0	210,030.4	0.8%
	8.その他	30,429.2	1,962,531.2	3,381,293.0	5,343,824.2	20.1%
	小計	149,369.0	13,603,687.6	13,036,915.0	26,640,602.6	100.0%

H15 年度 高血圧・重み付け患者数

年齢区分	分類	H15入院	H15入院外	H15調剤	入院外+調剤	入院外+調剤のシェア
20～29歳	1.利尿剤			3,360.0	3,360.0	2.9%
	2.β遮断剤		564.0	7,140.0	7,704.0	6.7%
	3.α遮断薬			2,940.0	2,940.0	2.6%
	4.Ca拮抗剤		1,879.0	4,620.0	6,499.0	5.7%
	5.ACE阻害剤			174.0	4,620.0	4.2%
	6.アンギオテンシン-I I受容体拮抗剤	160.0	78.0	5,880.0	5,958.0	5.2%
	7.漢方製剤			6,720.0	6,720.0	5.8%
	8.その他		39.0	76,860.0	76,899.0	66.9%
	小計	160.0	2,734.0	112,140.0	114,874.0	100.0%
30～39歳	1.利尿剤	17.4	7,360.0	10,080.0	17,440.0	3.1%
	2.β遮断剤	7.8	31,123.0	19,320.0	50,443.0	9.0%
	3.α遮断薬		15,107.0	3,360.0	18,467.0	3.3%
	4.Ca拮抗剤	65.6	102,851.5	36,120.0	138,971.5	24.9%
	5.ACE阻害剤		32,987.0	10,500.0	43,487.0	7.8%
	6.アンギオテンシン-I I受容体拮抗剤	52.2	42,023.5	20,160.0	62,183.5	11.1%
	7.漢方製剤			17,220.0	17,220.0	3.1%
	8.その他	48.2	36,153.5	174,720.0	210,873.5	37.7%
	小計	191.2	267,605.5	291,480.0	559,085.5	100.0%
40～49歳	1.利尿剤	454.4	8,059.0	40,320.0	48,379.0	5.6%
	2.β遮断剤	646.4	16,597.0	72,660.0	89,257.0	10.4%
	3.α遮断薬	7.8	5,773.0	23,940.0	29,713.0	3.5%
	4.Ca拮抗剤	1,147.4	54,158.5	174,300.0	228,458.5	26.6%
	5.ACE阻害剤	446.0	8,213.0	45,360.0	53,573.0	6.2%
	6.アンギオテンシン-I I受容体拮抗剤	519.0	24,450.0	98,700.0	123,150.0	14.3%
	7.漢方製剤	80.0	137.0	16,800.0	16,937.0	2.0%
	8.その他	198.6	8,097.0	262,500.0	270,597.0	31.5%
	小計	3,499.6	125,484.5	734,580.0	860,064.5	100.0%
50～59歳	1.利尿剤	603.0	65,397.0	100,800.0	166,197.0	4.8%
	2.β遮断剤	374.6	106,702.5	221,340.0	328,042.5	9.5%
	3.α遮断薬	237.4	53,514.0	65,520.0	119,034.0	3.4%
	4.Ca拮抗剤	3,619.0	562,418.0	776,580.0	1,338,998.0	38.7%
	5.ACE阻害剤	618.2	143,293.5	189,000.0	332,293.5	9.6%
	6.アンギオテンシン-I I受容体拮抗剤	1,981.6	156,101.5	320,040.0	476,141.5	13.8%
	7.漢方製剤	48.2	4,872.0	27,300.0	32,172.0	0.9%
	8.その他	1,421.6	147,270.0	517,440.0	664,710.0	19.2%
	小計	8,903.6	1,239,568.5	2,218,020.0	3,457,588.5	100.0%
60～69歳	1.利尿剤	1,332.6	101,794.5	252,620.0	354,414.5	5.7%
	2.β遮断剤	509.2	174,710.8	353,980.0	528,690.8	8.5%
	3.α遮断薬	455.0	86,581.5	158,180.0	244,761.5	4.0%
	4.Ca拮抗剤	5,481.6	974,203.5	1,516,160.0	2,490,363.5	40.2%
	5.ACE阻害剤	1,073.2	231,581.6	392,800.0	624,381.6	10.1%
	6.アンギオテンシン-I I受容体拮抗剤	2,075.8	222,701.7	484,140.0	706,841.7	11.4%
	7.漢方製剤	17.4	10,404.0	27,240.0	37,644.0	0.6%
	8.その他	3,616.6	295,211.4	909,320.0	1,204,531.4	19.5%
	小計	14,561.4	2,097,189.0	4,094,440.0	6,191,629.0	100.0%
70歳以上	1.利尿剤	26,740.0	288,778.2	757,140.0	1,045,918.2	11.4%
	2.β遮断剤	4,965.8	200,859.7	557,940.0	758,799.7	8.3%
	3.α遮断薬	1,704.0	131,035.7	229,940.0	360,975.7	3.9%
	4.Ca拮抗剤	34,932.0	715,304.2	2,739,980.0	3,455,284.2	37.6%
	5.ACE阻害剤	9,158.6	416,944.0	625,200.0	1,042,144.0	11.3%
	6.アンギオテンシン-I I受容体拮抗剤	9,982.6	123,722.6	857,680.0	981,402.6	10.7%
	7.漢方製剤	60.6	5,154.7	73,140.0	78,294.7	0.9%
	8.その他	28,875.6	459,048.1	2,062,300.0	2,521,348.1	27.5%
	小計	116,419.2	1,280,894.0	7,903,320.0	9,184,214.0	100.0%
合計	1.利尿剤	29,147.4	162,134.0	1,168,940.0	1,331,074.0	7.2%
	2.β遮断剤	6,503.8	244,716.9	1,233,640.0	1,478,356.9	8.0%
	3.α遮断薬	2,404.2	138,654.7	483,880.0	622,534.7	3.3%
	4.Ca拮抗剤	45,245.6	1,382,802.0	5,250,700.0	6,633,502.0	35.7%
	5.ACE阻害剤	11,296.0	376,703.6	1,273,780.0	1,650,483.6	8.9%
	6.アンギオテンシン-I I受容体拮抗剤	14,771.2	365,460.6	1,786,600.0	2,152,060.6	11.6%
	7.漢方製剤	206.2	7,895.7	173,880.0	181,775.7	1.0%
	8.その他	34,160.6	516,597.3	4,019,940.0	4,536,537.3	24.4%
	小計	143,735.0	3,194,964.8	15,391,360.0	18,586,324.8	100.0%

H14 年度 高血圧・薬価合計 (単位:円)

年齢区分	分類	H14入院	H14入院外	H14調剤
20～29歳	1.利尿剤		15,372.0	6,729.9
	2.β遮断剤		2,648.3	15,196.1
	3.α遮断薬		4,541.6	6,083.2
	4.Ca拮抗剤	39,364.0	14,618.7	13,556.2
	5.ACE阻害剤		9,248.6	21,790.6
	6.アンギオテンシン-I I受容体拮抗剤		14,175.6	19,763.6
	7.漢方製剤			5,179.1
	8.その他		16,434.6	8,060.0
	小計	39,364.0	12,889.0	8,320.6
30～39歳	1.利尿剤		8,911.5	6,843.2
	2.β遮断剤	17,995.6	7,984.9	9,715.6
	3.α遮断薬		4,422.7	18,606.4
	4.Ca拮抗剤	16,018.4	4,736.5	11,883.6
	5.ACE阻害剤	21,980.5	15,062.9	11,071.8
	6.アンギオテンシン-I I受容体拮抗剤	14,982.1	8,626.8	11,933.8
	7.漢方製剤	21,980.5	3,838.8	7,127.4
	8.その他	19,988.1	13,192.7	8,605.4
	小計	18,885.5	5,525.5	9,826.3
40～49歳	1.利尿剤	11,764.1	14,074.1	16,920.5
	2.β遮断剤	13,811.6	6,532.9	13,289.3
	3.α遮断薬	14,536.1	6,393.9	9,258.6
	4.Ca拮抗剤	19,777.8	6,420.7	13,371.3
	5.ACE阻害剤	6,664.9	6,856.1	11,342.7
	6.アンギオテンシン-I I受容体拮抗剤	28,071.3	12,754.8	13,941.2
	7.漢方製剤		11,882.8	7,881.7
	8.その他	35,538.5	7,848.1	8,351.6
	小計	22,895.6	7,626.8	10,008.7
50～59歳	1.利尿剤	86,040.5	7,990.2	9,994.4
	2.β遮断剤	19,209.5	6,854.0	9,152.3
	3.α遮断薬	51,773.3	8,412.3	13,061.2
	4.Ca拮抗剤	78,661.3	5,636.8	12,809.3
	5.ACE阻害剤	29,194.8	5,840.6	9,189.3
	6.アンギオテンシン-I I受容体拮抗剤	114,046.7	9,809.1	9,893.0
	7.漢方製剤		8,954.4	8,501.5
	8.その他	87,909.9	7,498.7	9,890.1
	小計	204,366.6	7,440.0	10,435.2
60～69歳	1.利尿剤	87,326.6	7,760.8	14,498.6
	2.β遮断剤	50,019.6	8,088.4	9,966.8
	3.α遮断薬	51,580.9	8,548.8	14,223.9
	4.Ca拮抗剤	32,052.2	6,292.3	9,205.4
	5.ACE阻害剤	38,710.0	6,901.8	11,564.9
	6.アンギオテンシン-I I受容体拮抗剤	47,684.1	10,694.5	13,536.6
	7.漢方製剤		12,285.8	9,734.0
	8.その他	73,244.1	9,212.1	10,552.3
	小計	70,225.3	8,790.9	13,238.6
70歳以上	1.利尿剤	37,877.7	12,286.0	12,443.8
	2.β遮断剤	35,928.7	12,297.0	12,315.7
	3.α遮断薬	30,932.3	10,400.2	15,480.4
	4.Ca拮抗剤	35,887.6	9,342.5	11,275.0
	5.ACE阻害剤	42,025.1	9,983.9	12,492.9
	6.アンギオテンシン-I I受容体拮抗剤	33,846.0	15,127.1	15,294.9
	7.漢方製剤	29,506.3	12,831.1	11,312.5
	8.その他	49,460.8	11,513.7	11,477.7
	小計	70,119.9	12,477.6	14,154.6
合計	1.利尿剤	40,020.9	10,009.8	11,783.2
	2.β遮断剤	34,593.5	9,058.8	10,607.9
	3.α遮断薬	41,009.1	9,546.4	14,154.5
	4.Ca拮抗剤	37,467.1	7,298.4	10,329.2
	5.ACE阻害剤	38,756.7	7,666.9	11,085.0
	6.アンギオテンシン-I I受容体拮抗剤	63,448.7	11,938.7	13,114.4
	7.漢方製剤	26,281.0	12,332.6	9,265.3
	8.その他	57,294.3	10,589.2	11,018.1
	小計	84,116.1	10,097.8	12,925.6

H15年度 高血圧・薬価合計(単位：円)

年齢区分	分類	H15入院	H15入院外	H15調剤
20～29歳	1.利尿剤			12,773.2
	2.β遮断剤		6,781.7	7,379.1
	3.α遮断薬			8,123.5
	4.Ca拮抗剤		2,161.8	11,872.6
	5.ACE阻害剤		3,158.4	10,527.3
	6.アンギオテンシン-I受容体拮抗剤	2,538.3	8,009.1	13,330.1
	7.漢方製剤			7,489.9
	8.その他		6,196.4	7,168.6
	小計	2,538.3	2,366.0	8,352.5
30～39歳	1.利尿剤	13,011.6	13,204.5	9,089.0
	2.β遮断剤	12,386.8	8,651.1	12,390.9
	3.α遮断薬		9,368.1	8,166.4
	4.Ca拮抗剤	14,544.6	8,487.3	11,517.6
	5.ACE阻害剤		9,644.3	14,222.9
	6.アンギオテンシン-I受容体拮抗剤	13,011.6	13,450.9	19,610.6
	7.漢方製剤			8,581.5
	8.その他	14,588.5	7,684.5	9,021.7
	小計	14,531.9	10,412.8	10,965.9
40～49歳	1.利尿剤	25,525.9	3,564.4	11,206.4
	2.β遮断剤	22,493.0	5,806.3	10,432.3
	3.α遮断薬	10,976.1	5,679.6	13,256.6
	4.Ca拮抗剤	8,699.0	5,964.1	9,319.0
	5.ACE阻害剤	51,327.6	5,556.7	10,179.6
	6.アンギオテンシン-I受容体拮抗剤	28,507.5	8,956.6	10,245.3
	7.漢方製剤	13,565.0	6,771.8	8,618.3
	8.その他	33,736.7	11,283.3	9,437.2
	小計	17,938.8	6,913.7	10,688.0
50～59歳	1.利尿剤	79,378.0	7,097.2	15,761.9
	2.β遮断剤	29,897.7	7,142.9	11,125.1
	3.α遮断薬	65,182.4	9,386.7	11,015.2
	4.Ca拮抗剤	29,858.5	5,829.7	10,696.7
	5.ACE阻害剤	36,732.7	6,862.9	9,691.7
	6.アンギオテンシン-I受容体拮抗剤	51,258.3	10,923.8	12,590.6
	7.漢方製剤	4,902.0	8,347.4	10,052.1
	8.その他	32,799.0	8,039.7	10,269.4
	小計	34,097.0	7,583.6	12,027.9
60～69歳	1.利尿剤	14,006.7	7,607.4	12,051.5
	2.β遮断剤	20,337.8	8,498.9	10,236.9
	3.α遮断薬	6,916.4	9,621.0	12,788.9
	4.Ca拮抗剤	25,420.3	5,952.6	10,211.1
	5.ACE阻害剤	11,377.4	6,949.0	11,605.0
	6.アンギオテンシン-I受容体拮抗剤	32,120.5	10,032.8	13,558.7
	7.漢方製剤	15,250.5	11,374.4	10,799.6
	8.その他	38,670.6	8,461.9	11,993.7
	小計	26,644.7	7,772.6	13,483.8
70歳以上	1.利尿剤	29,322.4	8,925.0	14,183.9
	2.β遮断剤	34,431.1	9,304.5	12,006.3
	3.α遮断薬	23,837.1	11,220.0	14,104.9
	4.Ca拮抗剤	34,309.3	7,684.0	10,448.1
	5.ACE阻害剤	29,272.8	9,448.1	13,376.0
	6.アンギオテンシン-I受容体拮抗剤	33,111.8	15,310.9	15,419.6
	7.漢方製剤	38,553.5	13,029.5	11,464.1
	8.その他	38,737.7	10,629.2	12,175.2
	小計	47,959.8	10,412.1	14,685.9
合計	1.利尿剤	28,258.5	7,738.9	12,864.8
	2.β遮断剤	29,777.4	8,231.8	10,689.8
	3.α遮断薬	17,014.1	9,157.1	13,217.7
	4.Ca拮抗剤	33,323.0	6,854.6	9,855.3
	5.ACE阻害剤	25,572.2	9,435.3	11,519.1
	6.アンギオテンシン-I受容体拮抗剤	34,469.1	12,467.0	14,080.9
	7.漢方製剤	27,660.7	11,685.9	10,122.5
	8.その他	38,684.2	9,860.7	11,440.7
	小計	44,779.1	8,978.9	13,659.2

H14年度 高血圧・総点数(単位:点)

年齢区分	分類	H14入院	H14入院外	H14調剤
20～29歳	1.利尿剤		1,676.0	996.0
	2.β遮断剤		1,176.1	1,901.7
	3.α遮断薬		854.0	712.5
	4.Ca拮抗剤	34,646.0	4,988.8	1,795.6
	5.ACE阻害剤		1,391.1	2,719.3
	6.アンギオテンシン-I受容体拮抗剤		2,572.6	2,450.9
	7.漢方製剤			858.8
	8.その他		13,787.5	1,126.8
	小計	34,646.0	2,210.0	1,178.9
30～39歳	1.利尿剤		1,502.3	1,008.7
	2.β遮断剤	3,538.0	1,427.8	1,359.2
	3.α遮断薬		1,298.4	2,180.3
	4.Ca拮抗剤	20,764.7	1,344.2	1,621.1
	5.ACE阻害剤	10,268.0	5,138.3	1,419.2
	6.アンギオテンシン-I受容体拮抗剤	19,789.7	1,619.3	1,486.0
	7.漢方製剤	10,268.0	773.5	1,097.1
	8.その他	6,903.0	4,425.1	1,249.7
	小計	20,772.4	1,466.5	1,347.0
40～49歳	1.利尿剤	16,108.0	4,085.2	2,156.2
	2.β遮断剤	16,141.9	2,074.1	1,744.7
	3.α遮断薬	23,076.7	1,356.9	1,189.7
	4.Ca拮抗剤	21,622.0	1,332.5	1,694.5
	5.ACE阻害剤	15,489.6	1,318.0	1,497.1
	6.アンギオテンシン-I受容体拮抗剤	18,095.3	1,887.0	1,772.4
	7.漢方製剤		1,862.9	1,084.5
	8.その他	30,509.2	1,553.5	1,185.6
	小計	27,534.2	1,461.5	1,325.1
50～59歳	1.利尿剤	38,272.1	2,765.4	1,346.7
	2.β遮断剤	16,746.7	1,379.8	1,302.6
	3.α遮断薬	85,764.3	1,581.1	1,672.7
	4.Ca拮抗剤	45,142.1	1,434.5	1,846.5
	5.ACE阻害剤	41,854.0	1,299.1	1,243.0
	6.アンギオテンシン-I受容体拮抗剤	47,648.4	1,811.6	1,328.0
	7.漢方製剤		1,740.6	1,296.0
	8.その他	37,806.5	1,529.8	1,409.9
	小計	86,784.5	1,487.8	1,404.4
60～69歳	1.利尿剤	43,380.4	1,949.4	1,967.5
	2.β遮断剤	33,308.0	1,722.7	1,390.8
	3.α遮断薬	40,913.5	1,866.3	1,869.1
	4.Ca拮抗剤	25,551.1	1,556.0	1,354.7
	5.ACE阻害剤	33,665.1	1,595.5	1,580.2
	6.アンギオテンシン-I受容体拮抗剤	38,603.8	2,404.1	1,785.7
	7.漢方製剤		2,054.9	1,455.0
	8.その他	38,496.8	2,388.5	1,516.5
	小計	44,860.1	1,979.0	1,763.5
70歳以上	1.利尿剤	25,883.1	2,481.9	1,867.3
	2.β遮断剤	25,442.7	2,363.8	1,731.7
	3.α遮断薬	27,030.9	2,028.5	2,134.9
	4.Ca拮抗剤	22,423.6	2,104.4	1,669.5
	5.ACE阻害剤	24,343.4	2,080.7	1,807.4
	6.アンギオテンシン-I受容体拮抗剤	26,913.6	2,778.7	2,029.6
	7.漢方製剤	19,769.1	2,376.9	1,658.1
	8.その他	27,546.7	2,356.4	1,690.8
	小計	34,199.0	2,432.1	1,934.0
合計	1.利尿剤	25,461.8	2,229.6	1,751.5
	2.β遮断剤	25,082.8	1,860.4	1,513.0
	3.α遮断薬	39,937.7	1,854.8	1,914.8
	4.Ca拮抗剤	25,623.3	1,734.4	1,521.0
	5.ACE阻害剤	26,718.7	1,702.6	1,601.4
	6.アンギオテンシン-I受容体拮抗剤	40,328.1	2,363.7	1,742.8
	7.漢方製剤	15,697.2	2,186.9	1,396.2
	8.その他	31,675.5	2,426.4	1,603.6
	小計	42,979.9	2,061.6	1,748.3

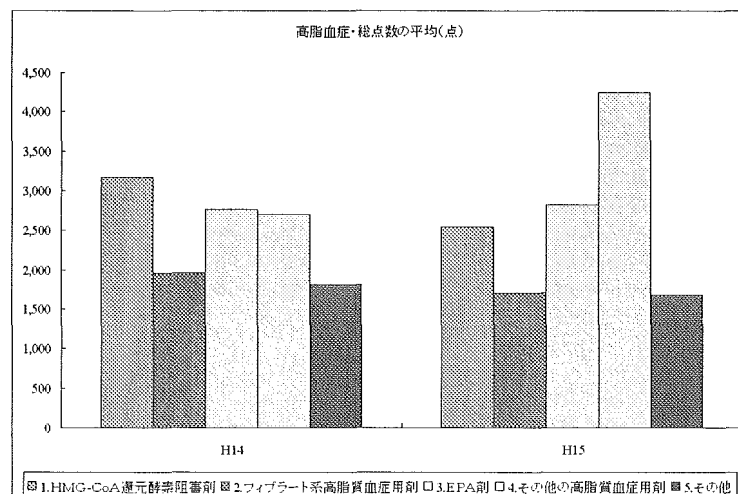
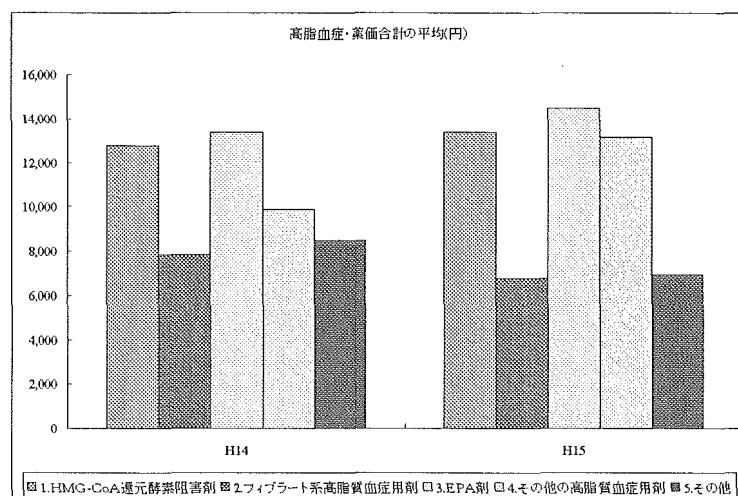
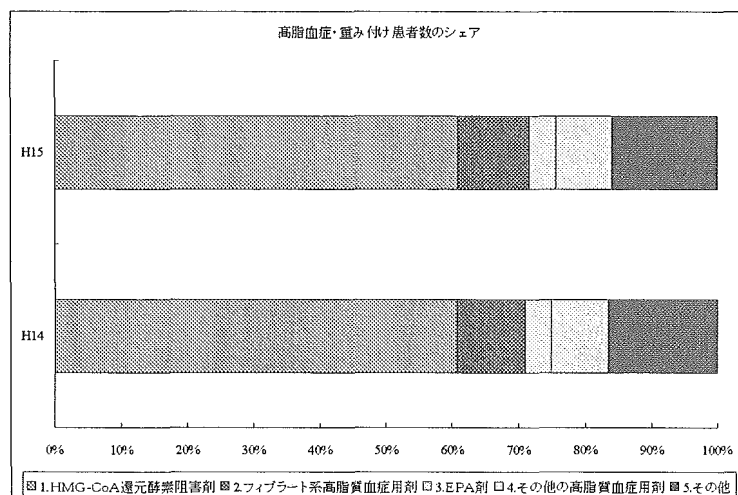
H15年度 高血圧・総点数(単位：点)

年齢区分	分類	入院	入院外	調剤
20～29歳	1.利尿剤			1,829
	2.β遮断剤		1,057	1,112
	3.α遮断薬			1,180
	4.Ca拮抗剤		821	1,789
	5.ACE阻害剤		1,508	1,468
	6.アンギオテンシン-I I受容体拮抗剤	9,851	1,127	1,845
	7.漢方製剤			1,001
	8.その他		1,053	1,043
	小計	9,851	689	1,228
30～39歳	1.利尿剤	12,832	2,005	1,226
	2.β遮断剤	19,437	1,507	1,554
	3.α遮断薬		1,754	1,122
	4.Ca拮抗剤	14,760	1,562	1,445
	5.ACE阻害剤		1,556	1,693
	6.アンギオテンシン-I I受容体拮抗剤	12,832	2,046	2,272
	7.漢方製剤			1,250
	8.その他	17,797	1,473	1,290
	小計	15,045	1,686	1,475
40～49歳	1.利尿剤	22,112	949	1,494
	2.β遮断剤	32,534	1,282	1,399
	3.α遮断薬	15,831	1,203	1,698
	4.Ca拮抗剤	14,458	1,361	1,282
	5.ACE阻害剤	39,002	1,162	1,326
	6.アンギオテンシン-I I受容体拮抗剤	22,130	1,519	1,323
	7.漢方製剤	18,551	1,606	1,276
	8.その他	22,652	1,873	1,350
	小計	20,579	1,319	1,428
50～59歳	1.利尿剤	39,178	1,573	2,001
	2.β遮断剤	18,955	1,417	1,461
	3.α遮断薬	26,520	1,746	1,419
	4.Ca拮抗剤	20,331	1,359	1,448
	5.ACE阻害剤	21,620	1,404	1,313
	6.アンギオテンシン-I I受容体拮抗剤	32,817	1,888	1,623
	7.漢方製剤	14,095	1,733	1,466
	8.その他	22,797	1,609	1,435
	小計	28,238	1,465	1,559
60～69歳	1.利尿剤	22,579	1,611	1,663
	2.β遮断剤	16,193	1,676	1,413
	3.α遮断薬	12,998	1,755	1,719
	4.Ca拮抗剤	19,461	1,419	1,481
	5.ACE阻害剤	16,949	1,512	1,570
	6.アンギオテンシン-I I受容体拮抗剤	26,986	1,722	1,786
	7.漢方製剤	15,236	1,984	1,580
	8.その他	22,259	1,696	1,656
	小計	25,017	1,553	1,753
70歳以上	1.利尿剤	23,437	2,117	1,976
	2.β遮断剤	21,737	1,840	1,673
	3.α遮断薬	18,882	2,047	1,898
	4.Ca拮抗剤	24,126	1,716	1,573
	5.ACE阻害剤	21,616	1,966	1,851
	6.アンギオテンシン-I I受容体拮抗剤	22,204	2,492	2,048
	7.漢方製剤	17,703	2,440	1,665
	8.その他	24,955	2,201	1,752
	小計	37,240	1,955	1,967
合計	1.利尿剤	23,098	1,849	1,799
	2.β遮断剤	21,374	1,646	1,494
	3.α遮断薬	16,606	1,799	1,798
	4.Ca拮抗剤	23,475	1,551	1,482
	5.ACE阻害剤	20,748	1,792	1,590
	6.アンギオテンシン-I I受容体拮抗剤	26,178	2,019	1,857
	7.漢方製剤	17,043	2,247	1,508
	8.その他	24,626	2,005	1,651
	小計	35,411	1,707	1,809

点)

## (2) 高脂血症

平成14年度平成15年度のそれぞれについての入院外と調剤レセプトを合計した外来患者における薬効別シェア、入院外の薬価合計と総点数の平均についてみると、HMG-CoA還元酵素阻害剤が最もシェアが多く、その傾向は平成14年、平成15年間で大きな違いはなかった。入院外の薬価合計、総点数についてみるとフィブラート系高脂血症剤では安かった。





年齢構成別に見ると、平成14年、平成15年とも、年齢が高くなるに従い、HMG-CoA還元酵素阻害剤の使用割合が高くなる傾向であった。ただし、70歳以上ではその割合はやや下がる傾向であった。薬価合計の平均では、年齢階層間に特徴は一般的な傾向は見られなかったが、30歳代のEPA製剤を使用している群の薬価が著しく高い数値となっていた。また、総数の入院外と調剤との薬価合計を比較してみると、平成14年度の入院外が12,488円、調剤が13,206円、平成15年度では、それぞれ12,437円、13,932円と調剤の方がやや高い傾向であった。

総点数でも、平成14年度で、それぞれ2,407点、1,760点と、平成15年度では、2,484点、1,822点と入院外の方が高い傾向であった。

#### H14年度 高脂血症・重み付け患者数

年齢区分	分類	入院	入院外	調剤	入院外+調剤	入院外+調剤のシェア
20～29歳	1. HMG-CoA還元酵素阻害剤	627	10,054	11,711	21,765	27.7%
	2. フィブラート系高脂血症用剤	83	2,276	1,400	3,676	4.7%
	3. EPA剤	1,093	1,430	350	1,780	2.3%
	4. その他の高脂血症用剤	7,181	9,815	3,500	13,315	16.9%
	5. その他	1,061	24,576	13,461	38,037	48.4%
	小計	10,044	48,151	30,422	78,573	100.0%
30～39歳	1. HMG-CoA還元酵素阻害剤	3,546	40,393	19,600	59,993	39.3%
	2. フィブラート系高脂血症用剤	908	16,496	8,050	24,546	16.1%
	3. EPA剤	145	2,312	1,400	3,712	2.4%
	4. その他の高脂血症用剤	9,248	15,514	7,350	22,864	15.0%
	5. その他	1,346	20,524	21,161	41,685	27.3%
	小計	15,192	95,239	57,561	152,800	100.0%
40～49歳	1. HMG-CoA還元酵素阻害剤	8,213	183,134	98,672	281,806	56.8%
	2. フィブラート系高脂血症用剤	1,634	54,152	22,050	76,202	15.3%
	3. EPA剤	439	11,678	7,000	18,678	3.8%
	4. その他の高脂血症用剤	14,378	39,360	20,811	60,171	12.1%
	5. その他	2,173	41,402	18,200	59,602	12.0%
	小計	26,837	329,726	166,733	496,459	100.0%
50～59歳	1. HMG-CoA還元酵素阻害剤	22,750	820,722	382,921	1,203,643	64.1%
	2. フィブラート系高脂血症用剤	4,804	169,874	76,272	246,146	13.1%
	3. EPA剤	1,767	33,470	13,650	47,120	2.5%
	4. その他の高脂血症用剤	33,926	129,985	25,550	155,535	8.3%
	5. その他	6,351	168,314	57,211	225,525	12.0%
	小計	69,598	1,322,365	555,604	1,877,969	100.0%
60～69歳	1. HMG-CoA還元酵素阻害剤	50,476	1,419,320	668,139	2,087,459	64.7%
	2. フィブラート系高脂血症用剤	6,360	227,897	107,699	335,596	10.4%
	3. EPA剤	6,588	64,999	28,300	93,299	2.9%
	4. その他の高脂血症用剤	41,697	178,024	73,822	251,846	7.8%
	5. その他	16,404	298,724	161,144	459,868	14.2%
	小計	121,526	2,188,963	1,039,104	3,228,067	100.0%
70歳以上	1. HMG-CoA還元酵素阻害剤	69,538	1,683,630	890,874	2,574,504	58.4%
	2. フィブラート系高脂血症用剤	6,871	247,956	106,914	354,870	8.1%
	3. EPA剤	16,546	142,908	86,514	229,422	5.2%
	4. その他の高脂血症用剤	87,965	280,131	108,426	388,557	8.8%
	5. その他	30,561	555,365	302,916	858,281	19.5%
	小計	211,481	2,909,990	1,495,644	4,405,634	100.0%
合計	1. HMG-CoA還元酵素阻害剤	155,699	4,158,006	2,073,317	6,231,323	60.7%
	2. フィブラート系高脂血症用剤	20,863	718,879	322,735	1,041,614	10.2%
	3. EPA剤	26,578	256,797	137,214	394,011	3.8%
	4. その他の高脂血症用剤	195,179	656,175	240,859	897,034	8.7%
	5. その他	58,932	1,116,469	577,243	1,693,712	16.5%
	小計	457,250	6,906,327	3,351,368	10,257,695	100.0%

H15年度 高脂血症・重み付け患者数

年齢区分	分類	入院	入院外	調剤	入院外+調剤	入院外+調剤のシェア
20～29歳	1. HMG-C o A還元酵素阻害剤	499	5,302	4,620	9,922	18.2%
	2. フィブレート系高脂血症用剤	185	3,880	420	4,300	7.9%
	3. EPA剤	82	1,768	420	2,188	4.0%
	4. その他の高脂血症用剤	7,381	6,743	2,100	8,843	16.2%
	5. その他	780	9,037	20,160	29,197	53.6%
	小計	8,927	26,730	27,720	54,450	100.0%
30～39歳	1. HMG-C o A還元酵素阻害剤	2,719	40,616	20,580	61,196	35.7%
	2. フィブレート系高脂血症用剤	1,314	10,576	10,920	21,496	12.5%
	3. EPA剤	228	8,502	420	8,922	5.2%
	4. その他の高脂血症用剤	13,873	10,376	12,180	22,556	13.2%
	5. その他	704	35,337	21,840	57,177	33.4%
	小計	18,838	105,407	65,940	171,347	100.0%
40～49歳	1. HMG-C o A還元酵素阻害剤	6,589	180,966	99,540	280,506	57.2%
	2. フィブレート系高脂血症用剤	2,194	62,142	28,560	90,702	18.5%
	3. EPA剤	605	7,788	5,040	12,828	2.6%
	4. その他の高脂血症用剤	23,585	31,752	20,580	52,332	10.7%
	5. その他	1,322	34,510	19,740	54,250	11.1%
	小計	34,295	317,158	173,460	490,618	100.0%
50～59歳	1. HMG-C o A還元酵素阻害剤	23,355	735,721	420,000	1,155,721	64.8%
	2. フィブレート系高脂血症用剤	4,358	202,832	69,720	272,552	15.3%
	3. EPA剤	1,776	25,192	23,520	48,712	2.7%
	4. その他の高脂血症用剤	27,310	90,507	39,060	129,567	7.3%
	5. その他	5,887	105,880	71,820	177,700	10.0%
	小計	62,686	1,160,132	624,120	1,784,252	100.0%
60～69歳	1. HMG-C o A還元酵素阻害剤	44,627	1,416,210	804,560	2,220,770	65.3%
	2. フィブレート系高脂血症用剤	8,404	255,845	108,720	364,565	10.7%
	3. EPA剤	8,500	78,478	33,860	112,338	3.3%
	4. その他の高脂血症用剤	20,240	159,268	78,960	238,228	7.0%
	5. その他	9,884	304,763	157,900	462,663	13.6%
	小計	91,655	2,214,563	1,184,000	3,398,563	100.0%
70歳以上	1. HMG-C o A還元酵素阻害剤	97,938	1,907,399	1,118,880	3,026,279	58.7%
	2. フィブレート系高脂血症用剤	8,151	294,612	133,780	428,392	8.3%
	3. EPA剤	15,611	154,044	105,840	259,884	5.0%
	4. その他の高脂血症用剤	79,350	311,781	147,740	459,521	8.9%
	5. その他	24,985	632,643	347,120	979,763	19.0%
	小計	226,035	3,300,479	1,853,360	5,153,839	100.0%
合計	1. HMG-C o A還元酵素阻害剤	176,554	4,286,214	2,471,960	6,758,174	61.0%
	2. フィブレート系高脂血症用剤	24,808	829,887	352,120	1,182,007	10.7%
	3. EPA剤	26,944	275,772	169,100	444,872	4.0%
	4. その他の高脂血症用剤	174,501	614,134	304,820	918,954	8.3%
	5. その他	44,051	1,135,451	645,720	1,781,171	16.1%
	小計	446,857	7,141,458	3,943,720	11,085,178	100.0%

H14年度 高脂血症・薬価合計（単位：円）

年齢区分	分類	入院	入院外	調剤
20～29歳	1. HMG-C o A還元酵素阻害剤	23,187	33,173	12,859
	2. フィブラート系高脂質血症用剤	15,700	9,259	6,110
	3. EPA剤	41,937	14,615	14,331
	4. その他の高脂質血症用剤	32,385	5,624	3,100
	5. その他	42,620	3,877	8,649
	小計	39,694	9,032	6,129
30～39歳	1. HMG-C o A還元酵素阻害剤	35,910	13,807	11,446
	2. フィブラート系高脂質血症用剤	45,671	6,900	10,456
	3. EPA剤	47,955	88,958	30,486
	4. その他の高脂質血症用剤	38,920	7,535	12,179
	5. その他	14,896	4,831	6,177
	小計	40,784	9,974	11,363
40～49歳	1. HMG-C o A還元酵素阻害剤	54,552	14,340	10,554
	2. フィブラート系高脂質血症用剤	25,666	7,812	9,511
	3. EPA剤	87,046	30,111	19,917
	4. その他の高脂質血症用剤	39,393	13,978	9,338
	5. その他	31,687	4,907	4,916
	小計	49,525	12,147	12,236
50～59歳	1. HMG-C o A還元酵素阻害剤	58,564	9,589	8,809
	2. フィブラート系高脂質血症用剤	35,732	5,391	10,372
	3. EPA剤	51,197	17,414	15,437
	4. その他の高脂質血症用剤	52,211	10,141	11,751
	5. その他	19,253	5,169	6,158
	小計	87,592	10,423	11,345
60～69歳	1. HMG-C o A還元酵素阻害剤	47,186	11,865	11,258
	2. フィブラート系高脂質血症用剤	36,028	9,111	7,070
	3. EPA剤	118,085	13,181	17,882
	4. その他の高脂質血症用剤	50,910	12,705	8,539
	5. その他	34,960	5,941	7,766
	小計	72,790	10,906	12,842
70歳以上	1. HMG-C o A還元酵素阻害剤	43,171	14,470	14,004
	2. フィブラート系高脂質血症用剤	51,760	8,319	9,990
	3. EPA剤	81,981	17,966	14,312
	4. その他の高脂質血症用剤	62,524	9,985	11,388
	5. その他	29,205	11,508	10,898
	小計	77,455	15,045	14,515
合計	1. HMG-C o A還元酵素阻害剤	47,580	12,772	12,129
	2. フィブラート系高脂質血症用剤	42,295	7,853	8,527
	3. EPA剤	82,437	13,386	13,785
	4. その他の高脂質血症用剤	55,083	9,890	9,673
	5. その他	27,273	8,491	8,635
	小計	73,688	12,488	13,206

H15 年度 高脂血症・薬価合計（単位：円）

年齢区分	分類	入院	入院外	調剤
20～29歳	1. HMG-C o A還元酵素阻害剤	23,707	21,231	8,731
	2. フィブラート系高脂質血症用剤	11,783	14,405	3,259
	3. E P A剤	110,050	54,143	14,629
	4. その他の高脂質血症用剤	34,767	18,823	2,579
	5. その他	31,113	4,685	5,736
	小計	39,863	19,676	7,144
30～39歳	1. HMG-C o A還元酵素阻害剤	41,766	14,935	10,861
	2. フィブラート系高脂質血症用剤	25,280	7,331	5,978
	3. E P A剤	50,295	27,237	11,625
	4. その他の高脂質血症用剤	35,391	18,286	11,254
	5. その他	43,400	4,383	5,488
	小計	49,856	12,261	10,477
40～49歳	1. HMG-C o A還元酵素阻害剤	70,203	15,089	9,860
	2. フィブラート系高脂質血症用剤	24,057	6,108	10,015
	3. E P A剤	72,084	12,696	18,088
	4. その他の高脂質血症用剤	46,204	10,113	14,490
	5. その他	69,869	6,416	4,820
	小計	73,593	13,567	12,296
50～59歳	1. HMG-C o A還元酵素阻害剤	55,664	12,535	13,957
	2. フィブラート系高脂質血症用剤	37,195	7,371	7,892
	3. E P A剤	73,518	17,806	16,144
	4. その他の高脂質血症用剤	49,481	12,968	8,318
	5. その他	72,047	4,500	7,041
	小計	75,735	11,157	12,510
60～69歳	1. HMG-C o A還元酵素阻害剤	56,617	11,656	12,176
	2. フィブラート系高脂質血症用剤	33,019	6,861	8,507
	3. E P A剤	75,434	12,729	19,942
	4. その他の高脂質血症用剤	57,576	16,355	11,810
	5. その他	38,540	6,348	6,770
	小計	64,464	11,756	13,278
70歳以上	1. HMG-C o A還元酵素阻害剤	55,708	15,682	16,106
	2. フィブラート系高脂質血症用剤	45,940	9,010	11,324
	3. E P A剤	65,276	16,939	18,398
	4. その他の高脂質血症用剤	73,033	12,128	12,651
	5. その他	36,366	8,545	11,339
	小計	115,010	13,269	15,275
合計	1. HMG-C o A還元酵素阻害剤	55,435	13,357	14,017
	2. フィブラート系高脂質血症用剤	34,297	6,787	9,140
	3. E P A剤	57,017	14,483	18,692
	4. その他の高脂質血症用剤	53,237	13,112	11,663
	5. その他	40,766	6,922	8,787
	小計	92,125	12,437	13,932